

調査票②財形貯蓄制度に関する労働者調査

対象外条件 SC2_1 < 15 または SC2_1 > 79 (即時回答終了)

対象外条件 SC3 = 「2. 雇用労働者以外のかたちで働いている(自営業、フリーランス等)」, 「3. まったく働いていない(無職等)」 (即時回答終了)

アンケート画面開始

Page 1

SC1 必須設定 回答必須

SC1

性別をお答えください。

- 1 男性
- 2 女性
- 3 どちらでもない

次へ

0 50 100(%)

SC2

対象外条件 SC2_1 < 15 または SC2_1 > 79 (即時回答終了)

- カテゴリ 1.歳

必須設定 回答必須**回答制御** 回答範囲「0~99」に該当しない場合はアラートを表示

SC2

年齢をお答えください。

 歳

次へ

0

50

100(%)

SC3

必須設定 回答必須**対象外条件** SC3 = 「2. 雇用労働者以外のかたちで働いている(自営業、フリーランス等)」, 「3. まったく働いていない(無職等)」(即時回答終了)**SC3**

あなたは、雇用労働者として働いていますか。

- 1 雇用労働者として働いている
- 2 雇用労働者以外のかたちで働いている(自営業、フリーランス等)
- 3 まったく働いていない(無職等)

[次へ](#)

0 50 100(%)

SC4

必須設定 回答必須

- カテゴリ 6.その他

- カテゴリ 6.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

SC4

現在の就業形態をお答えください。

- 1 正規雇用社員
- 2 契約社員
- 3 嘱託社員(再雇用者)
- 4 パートタイム・アルバイト
- 5 派遣社員
- 6 その他

次へ

0

50

100(%)

- SC5** **必須設定** 回答必須
- カテゴリ 19.その他
 - カテゴリ 19.その他 の詳細入力 1
- 必須設定** 無回答可
- 入力文字数** 100文字まで

SC5

勤務先の業種をお答えください。

- 1 農林漁業
- 2 鉱業、採石業、砂利採取業
- 3 建設業
- 4 製造業
- 5 電気・ガス・熱供給・水道業
- 6 情報通信業
- 7 運輸業、郵便業
- 8 卸売業、小売業
- 9 金融業、保険業
- 10 不動産業、物品賃貸業
- 11 学術研究、専門・技術サービス業
- 12 宿泊業、飲食サービス業
- 13 生活関連サービス業、娯楽業
- 14 教育、学習支援業
- 15 医療、福祉
- 16 複合サービス業
- 17 その他サービス業
- 18 公務
- 19 その他

次へ

0 50 100(%)

SC6

必須設定

回答必須

SC6

勤務先の従業員数(勤務先の企業全体で、正規雇用社員以外も含む)をお答えください。

- 1 29人以下
- 2 30～99人
- 3 100～299人
- 4 300～999人
- 5 1000人以上
- 6 わからない

次へ

0

50

100(%)

SC7

必須設定

回答必須

回答制御

排他カテゴリ「4. いずれも利用したことはない」に該当しない場合はアラートを表示

SC7

これまでに、以下の財形貯蓄制度(注)で利用したことがあるものをすべてお選びください。(いくつでも)

(注)財産形成貯蓄制度(財形貯蓄制度)には、一般財形貯蓄制度(一般財形)、財形年金貯蓄制度(年金財形)、財形住宅貯蓄制度(住宅財形)の3つがあります。

いずれも勤労者が金融機関と契約し、給与天引きにより事業主を通じて積み立てる制度です。

年金財形と住宅財形では、合わせて元本550万円まで(契約商品が保険等で年金財形のみ場合は385万円まで)利子非課税となる税制上の優遇措置があります。

- 1 一般財形貯蓄制度(一般財形)
- 2 財形年金貯蓄制度(年金財形)
- 3 財形住宅貯蓄制度(住宅財形)
- 4 いずれも利用したことはない

次へ

0 50 100(%)

SC8 必須設定 回答必須
回答者条件 SC7 = 「1. 一般財形貯蓄制度(一般財形)」

SC8

一般財形貯蓄制度(一般財形)を現在も利用していますか。

- 1 現在も利用している
- 2 現在は利用していない

次へ

0 50 100(%)

SC9

必須設定 回答必須

回答者条件 SC7 = 「2. 財形年金貯蓄制度(年金財形)」

SC9

年金財形貯蓄制度(年金財形)を現在も利用していますか。

なお積立てをしていない措置期間や、既に積立てを終了しており受給中の期間についても利用中の期間に含みます。

- 1 現在も利用している
- 2 現在は利用していない

次へ

0 50 100(%)

SC10 **必須設定** 回答必須
回答者条件 SC7 = 「3. 財形住宅貯蓄制度(住宅財形)」

SC10

住宅財形貯蓄制度(住宅財形)を現在も利用していますか。

- 1 現在も利用している
- 2 現在は利用していない

次へ

0 50 100(%)

アンケート画面開始

Page 1

Q1 必須設定 回答必須

回答者条件 SC7 = 「4. いずれも利用したことはない」

- カテゴリ 8.年齢要件(年金・住宅財形への加入は55歳まで)の制約により加入できなかったから

回答者条件 SC2_1 > 55

- カテゴリ 15.その他

- カテゴリ 15.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可

入力文字数 100文字まで

Q1

財形貯蓄制度を利用したことがないのは、なぜですか。

あてはまるものすべて選択してください。(いくつでも)

- 1 財形貯蓄制度の存在を知らなかったから
- 2 勤め先に財形貯蓄制度がないから
- 3 勤め先に財形貯蓄制度はあるが、自身は利用できる対象者ではないから
- 4 勤め先を通じず個人で貯蓄する方が便利だから
- 5 勤め先に貯蓄額を知られたくないから
- 6 他の資産形成支援制度(例:NISA、iDeCo 等)を利用しているから
- 7 手続き等が面倒だから
- 8 年齢要件(年金・住宅財形への加入は55歳まで)の制約により加入できなかったから
- 9 税制上の優遇措置(利子等非課税)に魅力がないから
- 10 自由に預け替えができないから
- 11 勤め先から特に勧められたことがなかったから
- 12 金融機関に特に勧められたことがなかったから
- 13 定期的に積み立てて貯蓄をするほど給与に余裕がないから
- 14 転職や退職のことを考えると、勤め先の制度は利用しなくなかったから
- 15 その他

次へ

0 50 100(%)

Q2

必須設定 回答必須**回答者条件** SC7 = 「1. 一般財形貯蓄制度(一般財形)」～「3. 財形住宅貯蓄制度(住宅財形)」

- カテゴリ 9.その他

- カテゴリ 9.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

Q2

財形貯蓄制度を利用している(利用していた)理由を教えてください。

あてはまるものすべて選択してください。(いくつでも)

- 1 給与天引きにより簡単に貯蓄できるから
- 2 勤め先が財形貯蓄に対する支援制度を採用しているから
- 3 税制上の優遇措置に魅力があるから(年金財形・住宅財形)
- 4 他の貯蓄商品に比べて運用利回りが良いから
- 5 勤め先に勧められたから
- 6 金融機関の担当者に勧められたから
- 7 払い出しに制限があるので、貯蓄しやすいから
- 8 財形融資制度を利用したかったから
- 9 その他

次へ

0

50

100(%)

Q3

必須設定 回答必須**回答制御** 排他カテゴリ「12. 特にない」に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 11.その他

- カテゴリ 11.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

Q3

財形貯蓄制度(一般財形、年金財形、住宅財形)への要望はありますか。

あてはまるものすべてお選びください。(いくつでも)

- 1 預入金融機関を自由に変更できるようにしてほしい
- 2 転職先に財形貯蓄制度がない場合や退職した場合でも、財形貯蓄制度への加入を継続できるようにしてほしい
- 3 (年金財形・住宅財形について)55歳以上でも加入できるようにしてほしい
- 4 積立要件(一般財形は3年以上、年金財形・住宅財形は5年以上の積立が必要)を緩和してほしい
- 5 退職一時金を預入できるようにしてほしい
- 6 臨時に給与口座等から預入できるようにしてほしい
- 7 年金財形の受給期間の上限を延長してほしい
(現行では商品が預貯金等の場合5~20年の間で受給期間を設定)
- 8 利子非課税枠を拡大してほしい
(現行で年金財形・住宅財形をあわせて550万円まで)
- 9 年金財形・住宅財形の非課税での払出要件を緩和してほしい
- 10 財形貯蓄制度の申込み等の様式や手続きを簡素化してほしい
- 11 その他
- 12 特にない

次へ

0

50

100(%)

Q4

必須設定 回答必須**回答制御** 排他カテゴリ「4. いずれも利用していない」に該当しない場合はアラートを表示

Q4

税制上の優遇がある以下の制度の中で、利用しているものをすべてお選びください。
(いくつでも)

- 1 NISA(少額投資非課税制度)
- 2 iDeCo(個人型確定拠出年金)
- 3 個人年金保険
- 4 いずれも利用していない

[次へ](#)

0 50 100(%)

Q5

必須設定 回答必須

- カテゴリ 2.財形貯蓄制度の一層の充実を図ってほしい
- カテゴリ 2.財形貯蓄制度の一層の充実を図ってほしいの詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

- カテゴリ 5.その他
- カテゴリ 5.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

Q5

財形貯蓄制度(一般財形、年金財形、住宅財形)の長期的な方向性について、ご意見を伺います。

あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

- 1 財形貯蓄制度を今後も現状どおり実施してほしい
- 2 財形貯蓄制度の一層の充実を図ってほしい (充実してほしい具体的内容:)
- 3 財形貯蓄制度は必要ない
- 4 わからない
- 5 その他

次へ

0 50 100(%)

Q6

必須設定 回答必須

回答者条件 SC7 = 「1. 一般財形貯蓄制度(一般財形)」～「3. 財形住宅貯蓄制度(住宅財形)」

Q6

財形持家融資制度(注)の利用状況や意向について伺います。

財形持家融資制度を利用したことがありますか、または今後利用したいと思いますか。

(注)財形持家融資制度は、財形貯蓄を利用している勤労者に対し、保有する財形貯蓄の10倍(上限4,000万円)の範囲内で、住宅を建設・購入又は改良するために必要な資金を融資する制度です。

- 1 利用したことがある、または今後利用したい
- 2 利用したことがなく、今後もしたいと思わない
- 3 わからない

次へ

0 50 100(%)

Q7

必須設定 回答必須**回答者条件** Q6 = 「1. 利用したことがある、または今後利用したい」

- カテゴリ 9.その他

- カテゴリ 9.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

Q7

財形持家融資を利用した、または今後利用したいと思う理由を教えてください。

あてはまるものすべて選択してください。(いくつでも)

- 1 公的な融資制度であり、信頼できるから
- 2 貸付金利が5年間固定であるから
- 3 金利が低いから
- 4 財形貯蓄を利用しているから
- 5 子育て勤労者向けや中小企業勤労者向けの金利優遇措置があるから
- 6 勤務先において負担軽減措置があるから
- 7 勤務先から勧められたから
- 8 業者や金融機関から勧められたから
- 9 その他

次へ

0

50

100(%)

Q8

必須設定 回答必須**回答者条件** Q6 = 「2. 利用したことがなく、今後もしたいと思わない」

- カテゴリ 9.その他

- カテゴリ 9.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

Q8

財形持家融資を利用したことがなく、今後も利用したいと思わない理由を教えてください。

あてはまるものすべて選択してください。(いくつでも)

(注)財形持家融資制度は、財形貯蓄を利用している勤労者に対し、保有する財形貯蓄の10倍(上限4,000万円)の範囲内で、住宅を建設・購入又は改良するために必要な資金を融資する制度です。

- 1 持家の取得やリフォームの予定がないから
- 2 そのような融資があることを知らなかったから
- 3 財形持家融資より貸付金利の利率が低い商品があったから
- 4 貸付金利は、全期間固定(35年固定)の方が良いから
- 5 貸付金利は、変動金利の方が良いから
- 6 代金支払時に融資が受けられない(つなぎ融資が必要とされた)から
- 7 勤務先から案内がなかったから
- 8 業者や金融機関から案内がなかったから
- 9 その他

次へ

0 50 100(%)

Q9

必須設定 回答必須**回答制御** 排他カテゴリ「7. 特にない」に該当しない場合はアラートを表示

- カテゴリ 6.その他
- カテゴリ 6.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

Q9

財形持家融資制度への要望はありますか。

あてはまるものをすべて選択してください。(いくつでも)

(注)財形持家融資制度は、財形貯蓄を利用している勤労者に対し、保有する財形貯蓄の10倍(上限4,000万円)の範囲内で、住宅を建設・購入又は改良するために必要な資金を融資する制度です。

- 1 融資の上限(現在は財形貯蓄の10倍(上限4,000万円)の範囲内)を引き上げてほしい
- 2 変動金利にしてほしい
- 3 全期間固定金利にしてほしい
- 4 金利を低くしてほしい
- 5 子育て勤労者向けや中小企業勤労者向けの金利優遇措置を拡充してほしい
- 6 その他
- 7 特にない

次へ

0 50 100(%)

Q10

必須設定 回答必須

- カテゴリ 2.財形持家融資制度の一層の充実を図ってほしい
- カテゴリ 2.財形持家融資制度の一層の充実を図ってほしいの詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

- カテゴリ 5.その他
- カテゴリ 5.その他 の詳細入力 1

必須設定 無回答可**入力文字数** 100文字まで

Q10

財形持家融資制度の長期的な方向性について、ご意見を伺います。
あなたのお考えに最も近いものをお選びください。

- 1 財形持家融資制度を今後も現状どおり実施してほしい
- 2 財形持家融資制度の一層の充実を図ってほしい（充実してほしい具体的内容:)
- 3 財形持家融資制度は必要ない
- 4 わからない
- 5 その他

次へ

0

50

100(%)

Q11 **必須設定** 回答必須
回答者条件 SC8 = 「1. 現在も利用している」

Q11

一般財形の利用状況について伺います。

現在利用している一般財形では、勤務先からの補助(奨励金)はありますか。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

次へ

0 50 100(%)

Q12

必須設定 回答必須**回答者条件** SC8 = 「1. 現在も利用している」かつ SC2_1 >= 20

- カテゴリ 3.25～29歳
回答者条件 SC2_1 >= 25
- カテゴリ 4.30～34歳
回答者条件 SC2_1 >= 30
- カテゴリ 5.35～39歳
回答者条件 SC2_1 >= 35
- カテゴリ 6.40～44歳
回答者条件 SC2_1 >= 40
- カテゴリ 7.45～49歳
回答者条件 SC2_1 >= 45
- カテゴリ 8.50～54歳
回答者条件 SC2_1 >= 50
- カテゴリ 9.55～59歳
回答者条件 SC2_1 >= 55
- カテゴリ 10.60～64歳
回答者条件 SC2_1 >= 60
- カテゴリ 11.65～69歳
回答者条件 SC2_1 >= 65
- カテゴリ 12.70歳以上
回答者条件 SC2_1 >= 70

Q12

一般財形の積み立てをはじめたのは、何歳のときですか。

- 1 ○ 20歳未満
- 2 ○ 20～24歳
- 3 ○ 25～29歳
- 4 ○ 30～34歳
- 5 ○ 35～39歳
- 6 ○ 40～44歳
- 7 ○ 45～49歳
- 8 ○ 50～54歳
- 9 ○ 55～59歳
- 10 ○ 60～64歳
- 11 ○ 65～69歳
- 12 ○ 70歳以上

次へ

0

50

100(%)

Q13

必須設定 回答必須

回答者条件 SC8 = 「1. 現在も利用している」

Q13

どのくらいの頻度で一般財形に積み立てを行っていますか。

- 1 毎月、給与を受け取ったとき
- 2 年に数回、賞与を受け取ったとき
- 3 毎月の給与と年に数回の賞与を受け取ったときの両方
- 4 その他

[次へ](#)

0

50

100(%)

Q14 必須設定 回答必須
回答者条件 SC8 = 「1. 現在も利用している」

Q14

毎年、合計でどのくらいの金額(※)を一般財形に積み立てていますか。

※計算例:毎月5千円、賞与として2回、1万円ずつ積み立てている場合は、
(5千円×12)+(1万円×2)=8万円

- 1 2万円未満
- 2 2～5万円未満
- 3 5～10万円未満
- 4 10～15万円未満
- 5 15～20万円未満
- 6 20～30万円未満
- 7 30万円以上

次へ

0 50 100(%)

Q15 **必須設定** 回答必須
回答者条件 SC8 = 「1. 現在も利用している」

Q15

一般財形の現在の貯蓄額は、どのくらいですか。

- 1 ○ 50万円未満
- 2 ○ 50～100万円未満
- 3 ○ 100～200万円未満
- 4 ○ 200～300万円未満
- 5 ○ 300～400万円未満
- 6 ○ 400～500万円未満
- 7 ○ 500～550万円未満
- 8 ○ 550～600万円未満
- 9 ○ 600万円以上

次へ

0 50 100(%)

- Q16** **必須設定** 回答必須
回答者条件 SC8 = 「1. 現在も利用している」
回答制御 排他カテゴリ「5. わからない」に該当しない場合はアラートを表示

Q16

一般財形の積み立てをしている金融商品をすべてお選びください。(いくつでも)

(注)金銭を信託財産として信託銀行などに預け、その金銭を信託銀行が約款に指定された運用範囲内で合同して運用し、その収益を信託金額に応じて支払われる商品。

- 1 預貯金(定期預金、定額貯金)
- 2 合同運用信託(金銭信託、貸付信託)(注)
- 3 有価証券(公社債、公社債投資信託、株式投資信託)
- 4 保険商品(積立保険、積立傷害保険等)
- 5 わからない

次へ

0 50 100(%)

Q17 必須設定 回答必須
回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q17

年金財形の利用状況について伺います。

現在利用している年金財形では、勤務先からの補助(奨励金)はありますか。

※既に積み立てを終了している方は、積み立てをしていた当時の状況をお答えください。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

次へ

0 50 100(%)

Q18

必須設定 回答必須**回答者条件** SC9 = 「1. 現在も利用している」かつ SC2_1 >= 20

- カテゴリ 3.25～29歳

回答者条件 SC2_1 >= 25

- カテゴリ 4.30～34歳

回答者条件 SC2_1 >= 30

- カテゴリ 5.35～39歳

回答者条件 SC2_1 >= 35

- カテゴリ 6.40～44歳

回答者条件 SC2_1 >= 40

- カテゴリ 7.45～49歳

回答者条件 SC2_1 >= 45

- カテゴリ 8.50歳以上

回答者条件 SC2_1 >= 50

Q18

年金財形の積み立てをはじめたのは、何歳のときですか。

- 1 20歳未満
- 2 20～24歳
- 3 25～29歳
- 4 30～34歳
- 5 35～39歳
- 6 40～44歳
- 7 45～49歳
- 8 50歳以上

次へ

0 50 100(%)

Q19 必須設定 回答必須
回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q19

どのくらいの頻度で年金財形に積み立てを行っていますか。

※既に積み立てを終了している方は、積み立てをしていた当時の状況をお答えください。

- 1 毎月、給与を受け取ったとき
- 2 年に数回、賞与を受け取ったとき
- 3 毎月の給与と年に数回の賞与を受け取ったときの両方
- 4 その他

次へ

0 50 100(%)

Q20

必須設定 回答必須

回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q20

毎年、合計でどのくらいの金額(*)を年金財形に積み立てていますか。

※既に積み立てを終了している方は、積み立てをしていた当時の状況をお答えください。

*計算例:毎月5千円、賞与として2回、1万円ずつ積み立てている場合は、
(5千円×12)+(1万円×2)=8万円

- 1 2万円未満
- 2 2～5万円未満
- 3 5～10万円未満
- 4 10～15万円未満
- 5 15～20万円未満
- 6 20～30万円未満
- 7 30万円以上

次へ

0 50 100(%)

Q21

必須設定 回答必須

回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q21

年金財形の現在の貯蓄額は、どのくらいですか。

※1 年金財形は(住宅財形と合わせて)元本550万円(契約商品が保険等で年金財形のみの場合)は385万円まで)まで利子非課税です。

※2 既に受給中の方は、積立金を引き出す前の金額をお答えください。

- 1 50万円未満
- 2 50～100万円未満
- 3 100～200万円未満
- 4 200～300万円未満
- 5 300～400万円未満
- 6 400～500万円未満
- 7 500～550万円未満
- 8 550～600万円未満
- 9 600万円以上

[次へ](#)

0 50 100(%)

Q22 **必須設定** 回答必須
回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q22

年金財形の積み立てをしている金融商品をお選びください。

(注)金銭を信託財産として信託銀行などに預け、その金銭を信託銀行が約款に指定された運用範囲内で合同して運用し、その収益を信託金額に応じて支払われる商品。

- 1 預貯金(定期預金、定額貯金)
- 2 合同運用信託(金銭信託、貸付信託)(注)
- 3 有価証券(公社債、公社債投資信託、株式投資信託)
- 4 保険商品(積立保険、積立傷害保険等)
- 5 わからない

次へ

0 50 100(%)

Group 回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q23 - カテゴリ 1.歳

必須設定 無回答可

回答制御 回答範囲「55～99」に該当しない場合はアラートを表示

Q23SQ 必須設定 回答必須

回答者条件 Q23_1 = null

Q23

年金財形の積み立てが終了する予定の年齢をお答えください。

※1 既に積み立てが終了している方は、積み立てが終了した年齢をお答えください。

※2 55歳以上の年齢をご記入ください。

※3 不明の方は「まだ決めていない」をお選びください。

歳

まだ決めていない

次へ

0

50

100(%)

Q24 必須設定 回答必須
回答者条件 Q23_1 ≠ null

Q24

年金財形の積み立てを終了する予定の年齢は、勤務先の定年と同じ年齢ですか。

- 1 はい
- 2 いいえ
- 3 わからない
- 4 定年はない

次へ

0 50 100(%)

Group 回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q25 - カテゴリ 1.歳

必須設定 無回答可

回答制御 回答範囲「60～99」に該当しない場合はアラートを表示

Q25SQ 必須設定 回答必須

回答者条件 Q25_1 = null

Q25

年金財形の受給開始予定年齢をお答えください。

※1 既に受給を開始している方は、受給を開始した年齢をお答えください。

※2 60歳以上の年齢をご記入ください。

※3 不明の方は「まだ決めていない」をお選びください。

歳

まだ決めていない

次へ

0 50 100(%)

Q26

必須設定 回答必須

回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q26

年金財形の受給を開始する時期は、公的老齢年金の受給開始よりも早い時期を考えていますか(既に受給している方は、実際の状況をお答えください)。

- 1 はい
- 2 いいえ(公的年金の受給開始より遅い時期に受給を始める予定)
- 3 いいえ(公的年金の受給開始と同じタイミングで受給を始める予定)
- 4 まだ決めていない

次へ

0 50 100(%)

Q27

必須設定 回答必須

回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q27

年金財形の受給開始時期を検討するにあたり、年金財形の加入契約時に、金融機関から、公的年金の受給を開始するまでのつなぎとして利用できるといった説明はありましたか。

- 1 説明があった
- 2 説明はなかった
- 3 わからない

[次へ](#)

0

50

100(%)

Q28

必須設定 回答必須

回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q28

年金財形では、積立を終了してから受給を開始するまでの間、積立をしなくてもよい「据置期間」を最大5年間設定することができます。

据置期間を利用する予定はありますか。

(既に受給を開始している方は、実際の状況をお答えください。据置期間の利用実績がある人は、「現在、据置期間を利用している」をお選びください)

- 1 据置期間を利用する予定がある
(例:55歳まで積立を継続した後、5年間の据置期間を設定し、60歳から受給する)
- 2 現在、据置期間を利用している
- 3 据置期間を利用する予定はない
(例:60歳まで積立を継続して、60歳から受給する)
- 4 まだ決めていない

[次へ](#)

0 50 100(%)

Q29

必須設定 回答必須

回答者条件 SC9 = 「1. 現在も利用している」

Q29

年金財形の受給期間(※)は、何年を予定していますか。

※保険等は5年以上、その他預貯金等は5年以上20年以内から選択することになっています。

- 1 5年
- 2 5年超～10年未満
- 3 10～15年未満
- 4 15～20年未満
- 5 20年以上
- 6 まだ決めていない

次へ

0 50 100(%)

Q30

必須設定 回答必須

回答者条件 SC10 = 「1. 現在も利用している」

Q30

住宅財形の利用状況について伺います。現在利用している住宅財形では、勤務先からの補助(奨励金)はありますか。

- 1 ある
- 2 ない
- 3 わからない

[次へ](#)

0

50

100(%)

Q31

必須設定 回答必須

回答者条件 SC10 = 「1. 現在も利用している」かつ SC2_1 >= 20

- カテゴリ 3.25～29歳

回答者条件 SC2_1 >= 25

- カテゴリ 4.30～34歳

回答者条件 SC2_1 >= 30

- カテゴリ 5.35～39歳

回答者条件 SC2_1 >= 35

- カテゴリ 6.40～44歳

回答者条件 SC2_1 >= 40

- カテゴリ 7.45～49歳

回答者条件 SC2_1 >= 45

- カテゴリ 8.50歳以上

回答者条件 SC2_1 >= 50

Q31

住宅財形の積み立てをはじめたのは、何歳のときですか。

- 1 20歳未満
- 2 20～24歳
- 3 25～29歳
- 4 30～34歳
- 5 35～39歳
- 6 40～44歳
- 7 45～49歳
- 8 50歳以上

次へ

0

50

100(%)

Q32 **必須設定** 回答必須
回答者条件 SC10 = 「1. 現在も利用している」

Q32

どのくらいの頻度で住宅財形に積み立てを行っていますか。

- 1 毎月、給与を受け取ったとき
- 2 年に数回、賞与を受け取ったとき
- 3 毎月の給与と年に数回の賞与を受け取ったときの両方
- 4 その他

次へ

0 50 100(%)

Q33

必須設定 回答必須

回答者条件 SC10 = 「1. 現在も利用している」

Q33

毎年、合計でどのくらいの金額(※)を住宅財形に積み立てていますか。

※計算例:毎月5千円、賞与として2回、1万円ずつ積み立てている場合は、
(5千円×12)+(1万円×2)=8万円

- 1 2万円未満
- 2 2～5万円未満
- 3 5～10万円未満
- 4 10～15万円未満
- 5 15～20万円未満
- 6 20～30万円未満
- 7 30万円以上

次へ

0 50 100(%)

Q34 必須設定 回答必須
回答者条件 SC10 = 「1. 現在も利用している」

Q34

住宅財形の現在の貯蓄額は、どのくらいですか。

※住宅財形は(年金財形と合わせて)元本550万円まで利子非課税です。

- 1 50万円未満
- 2 50～100万円未満
- 3 100～200万円未満
- 4 200～300万円未満
- 5 300～400万円未満
- 6 400～500万円未満
- 7 500～550万円未満
- 8 550～600万円未満
- 9 600万円以上

次へ

0 50 100(%)

Q35

必須設定 回答必須

回答者条件 SC10 = 「1. 現在も利用している」

Q35

住宅財形の積み立てをしている金融商品をお選びください。

(注)金銭を信託財産として信託銀行などに預け、その金銭を信託銀行が約款に指定された運用範囲内で合同して運用し、その収益を信託金額に応じて支払われる商品。

- 1 預貯金(定期預金、定額貯金)
- 2 合同運用信託(金銭信託、貸付信託)(注)
- 3 有価証券(公社債、公社債投資信託、株式投資信託)
- 4 保険商品(積立保険、積立傷害保険等)
- 5 わからない

次へ

0 50 100(%)

Q36 必須設定 回答必須

Q36

これまでに転職の経験はありますか(同一の勤め先での再雇用を前提とした定年退職、関連会社への転職や派遣社員の派遣先の変更は転職に含まないものとします)。

- 1 ない
2 ある

[次へ](#)

0 50 100(%)

Q37

必須設定 回答必須**回答者条件** Q36 = 「2. ある」かつ SC2_1 >= 20

- カテゴリ 3.25～29歳
回答者条件 SC2_1 >= 25
- カテゴリ 4.30～34歳
回答者条件 SC2_1 >= 30
- カテゴリ 5.35～39歳
回答者条件 SC2_1 >= 35
- カテゴリ 6.40～44歳
回答者条件 SC2_1 >= 40
- カテゴリ 7.45～49歳
回答者条件 SC2_1 >= 45
- カテゴリ 8.50～54歳
回答者条件 SC2_1 >= 50
- カテゴリ 9.55～59歳
回答者条件 SC2_1 >= 55
- カテゴリ 10.60～64歳
回答者条件 SC2_1 >= 60
- カテゴリ 11.65～69歳
回答者条件 SC2_1 >= 65
- カテゴリ 12.70歳以上
回答者条件 SC2_1 >= 70

Q37

転職前の会社を退職した年齢をお答えください。複数回転職している場合は、該当するものをすべて選択してください。(いくつでも)

- 1 20歳未満
- 2 20～24歳
- 3 25～29歳
- 4 30～34歳
- 5 35～39歳
- 6 40～44歳
- 7 45～49歳
- 8 50～54歳
- 9 55～59歳
- 10 60～64歳
- 11 65～69歳
- 12 70歳以上

送信

0

50

100(%)